

週間漁海況情報—第27号

平成26年7月7日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

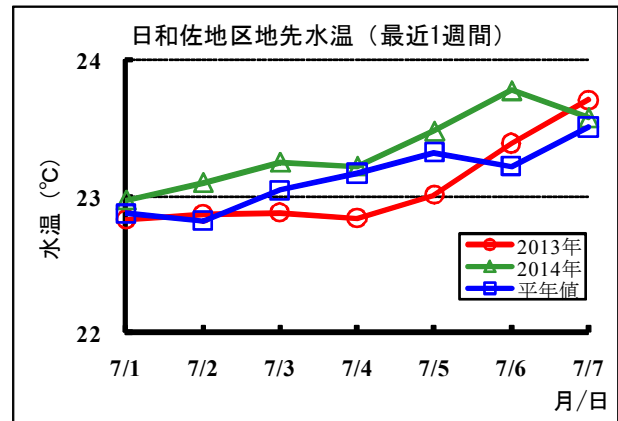
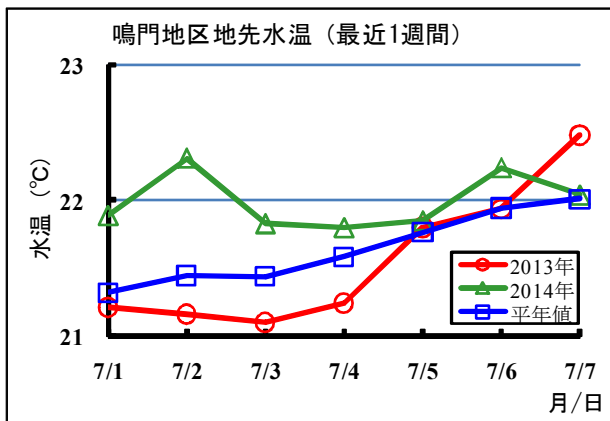
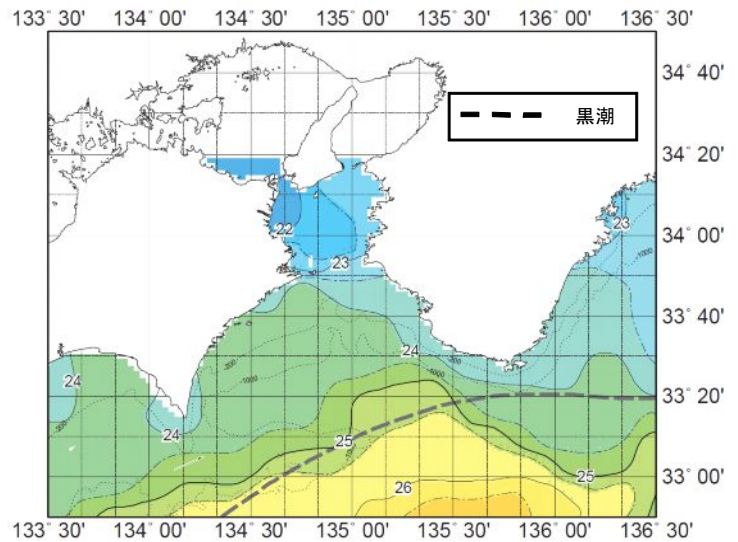
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.7.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21～22℃台、紀伊水道では21～23℃台、海部沿岸は23～24℃台である。海部郡沿岸及び紀伊水道外域では24℃台の暖水域に広く覆われている。



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の21.8～22.3℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の23.0～23.8℃、牟岐地区は「やや高め」の23.6～24.5℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で小主体にアカムツが0.7トン（1日1隻当たり15kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でイワシ類が4.2トン（同844kg）、小主体にサバ類が0.5トン（同96kg）、マルソウダが0.2トン（同41kg）、大主体にシイラが3.0トン（同603kg）、イサキが0.7トン（同145kg）、小主体にケンサキイカが0.3トン（同55kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが85.3トン（同550kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年6月30日～2014年7月6日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	50	749	15	小主体
大型定置網		イワシ類	5	4,220	844	
		サバ類	5	478	96	小主体
		マルソウダ	5	207	41	
		シイラ	5	3,015	603	大主体
		イサキ	5	725	145	
		ケンサキイカ	5	275	55	小主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	155	85,250	550	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月1日～7月7日には、海部沿岸では、小型定置網でマメ主体にマアジが0.7トン、ウルメイワシが1.0トン、小小主体にアカカマスが0.2トン、大型定置網でマメ主体にマアジが2.2トン、小主体にゴマサバが0.5トン、小小主体にサバ類が0.3トン、小小主体にアカカマスが0.2トン、大主体にシイラが0.3トン、釣りで、大主体にイサキが0.2トン、紀伊水道で、釣りで、特大主体にタチウオが0.3トン、パッチ網で、シラスが23.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の22℃台、日和佐地先で「平年並」の23～24℃台で推移する見込み。